

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	わんぱくきかくゆうげんがいしゃ わんぱく企画有限公司	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	代表取締役社長 橋本絵美		
制作団体所在地	〒 249-0005 最寄り駅(バス停) JR逗子駅 神奈川県逗子市桜山8-10-13 オリエン트逗子202号室		
電話番号	045-324-5885		
ふりがな 公演団体名	わんぱくよせ がっこうよせ わんぱく寄席(小学校の場合) ・学校寄席(中学校の場合)	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	代表取締役社長 橋本絵美		
公演団体所在地	〒 249-0005 最寄り駅(バス停) JR逗子駅 神奈川県逗子市桜山8-10-13 オリエン트逗子202号室		
制作団体 設立年月	平成4年 5月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役社長 橋本絵美 中坪征二	制作スタッフ 舞台スタッフ	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	橋本絵美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	斎藤直美

制作団体沿革	昭和47年7月静岡県河津の中学校で本邦初の「学校寄席」を開始。 (構成メンバーは二代目桂小南、入船亭扇橋、桂南喬、二代目林家正楽、森トシ) 頭の柔らかいこどもの時期から伝統芸能に触れることで20年、30年先の観客をつくること、また文化の継承を目的として、全国の小・中学・高校生を対象に芸術鑑賞教室を始める。 昭和50年学校帰りの小学生が学校寄席を熱心に聞いているのをみて、小学生にも落語のおもしろさが伝わることを確信し、小学生対象に「わんぱく寄席」の上演を開始。各地域の教育委員会合同芸術鑑賞教室、子ども劇場、おやこ劇場。上演学校数も1万余校を超える。 平成4年 わんぱく企画有限会社設立。 平成17年厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財 平成25年厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財 平成25年「長年にわたって、日本の伝統芸能を子どもたちに普及し、児童の健全育成に貢献してきた活動について」 厚生労働省特別部門児童福祉文化賞受賞 全国の小中高で上演を続け、「学校寄席」は50年の上演を超えました。当初、落語は「くだらないもの、難しいもの」というイメージがあり、鑑賞行事として学校上演するまでに苦労を重ねて参りました。令和の時代になり落語など日本の伝統芸能が多くの人たちに認められるようになり、初めて「学校寄席」を上演した二代目桂小南、入船亭扇橋、桂南喬、二代目林家正楽、三味線の森トシ他の方々から、その弟子へまたその孫弟子へ受け継がれ、現在まで多くの出演者、スタッフの力で、ようやく、学校での公演が認められるようになり、ロコミでひろがるようになりました。		
学校等における公演実績	全国北海道から沖縄に至るまで多岐にわたる小・中学校年間約150校 日本児童・青少年演劇劇団協同組合主催 「夏休み児童・青少年演劇フェスティバル」参加 文化庁 平成22年度「本物の舞台芸術体験事業」 平成23年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」 平成25年度「次代を担う子供の文化芸術体験事業」 平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」 平成27年度「文化芸術による子供の育成事業」 令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」 令和3年度「文化芸術による子供育成推進事業」		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/Gns-VKrf6Qs	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	笑いを届ける「わんぱく寄席」「学校寄席」				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	一番太鼓でお出迎え……代表児童生徒 1, 開口一番 2, 落語 3, 色物 4, 代表児童・生徒による落語発表会 お仲入り(休憩) 5, 色物 6, 落語 追い出し太鼓でお開き 落語の演目は「牛ほめ」「子ほめ」「お菊の皿」「つる」「狸の札」「元犬」「時そば」など 児童生徒にわかりやすいものの中から、 児童生徒の雰囲気をもて落語家が当日選定します。 (その理由は演目選択理由をご覧ください) 公演時間 100 分				
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名		許諾確認状況	
演目概要	事前ワークショップで落語について理解を深め、本公演で実演と児童生徒による発表を行います。 児童生徒による「一番太鼓」で開場。「どんどんどーんとこい」と軽快に打ち鳴らしお客様の入場を後押しします。 開口一番の若手落語家、中堅の落語家の落語、紙切りや曲芸などの色物と続き、いよいよ代表児童生徒による落語発表。 リコーダーと出囃子の演奏とともに、着物を着た児童生徒が登場し 『寿限無』、『平林』などの落語を披露します。 休憩の後の第二部は、奇術(手品)などの目で見て楽しい色物、大看板真打ちによる落語をお楽しみいただき 追い出し太鼓でお開き。 (詳細につきましては別添参照) 「わんぱく寄席」「学校寄席」を見た児童生徒は、椅子から転げ落ちるほど大笑い。 会場は地響きが鳴るような笑い声の渦。「伝統芸能=難しい」という大人の考えをよそに、 先入観のない児童生徒は素直に心の底から大笑いして楽しめます。 児童生徒による落語発表では、堂々とした口調で物語の登場人物を演じ分け、落語家も顔負け の落語を披露します。今後スピーチなどの発表にもこの経験を活かすことができます。 詳細は別添をご覧ください				

演目選択理由	「わんぱく寄席」「学校寄席」は、児童生徒の生活や学校教育の現場に、健全な「笑い」を提供します。その「笑い」は、児童生徒の日本語能力を深め、知的好奇心を刺激するだけではなく、児童生徒の心を解きほぐす力になっています。 はじめて落語を見た児童生徒の落語の感想は、『笑点』などの大喜利が落語だと思った」、「落語はおじいさんが見るものだった」という意見がほとんどです。 児童生徒に本物の話芸を伝え、将来のお客様を作りたいという想いから全国の小学校、中学校に「わんぱく寄席・学校寄席」を広める活動がはじめ、50年を超えました。 想像力の豊かな子どもたちから、落語の興味あふれる内容を聞くことで、豊かな情操を養い、やがて良き話し手、良き文章家として将来活躍するきっかけになればいいと考えております。 落語の演目は当日児童生徒の雰囲気を見て、わかりやすい演目を選びます。 落語の生命は「落ち」(サゲ)にあります。あらかじめ、物語のあらすじを知らなくても、児童生徒は一語一句も聞き漏さないように、真剣に話に耳を傾けます。このことにより「聞く力」を養うことができます。 児童生徒は感性が豊かで、わからない言葉がでてきても全体の話しの流れで理解する柔軟性を持っています。映像や効果音などない、話し言葉、ただそれだけで、児童生徒は一人一人違った想像を頭の中に作り出していきます。 落語には、江戸時代の人々の生活が生き生きと描かれています。長屋の大家さん、ご隠居さん、八つぁん、熊さん、女将さんに与太郎さん。落語の登場人物は、おっちょこちょいだけど憎めない、愛すべき人間たちが多く登場します。 江戸時代の人のおおらかさ、人情が笑いとして描かれているのが落語の魅力です。 児童生徒さんには、人と人とのつながりを描いている落語を聞いて、いろんな人がいるから世界はおもしろいという「多様性」の大切さ、人への思いやり、コミュニケーション能力を落語を聞いたことで自然と身につけるきっかけになって欲しいと思います。 ほっとできる時間がないほど現代の子どもたちは忙しい毎日を送っています。その忙しい時間の少しの間だけでも落語を聞いていただき、ほっとする時間にして頂きたいと思います。
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	1限目…寄席(落語)ってなんだろう？落語の解説や落語『寿限無』『平林』など 参加者＝全員参加(全員参加が難しい場合は、学年、クラス単位でも可能) 2限目…わくわく落語教室 参加者＝学年またはクラス単位参加 ○落語「平林」「寿限無」のお稽古→本公演で発表 ○一番太鼓のお稽古(児童生徒入場時に叩く)→本公演で発表 ○太鼓、鉦(かね)(与助(よすけ))、笛(リコーダー)のお稽古→本公演で発表 …児童生徒が落語発表するときの出囃子にあわせて演奏します

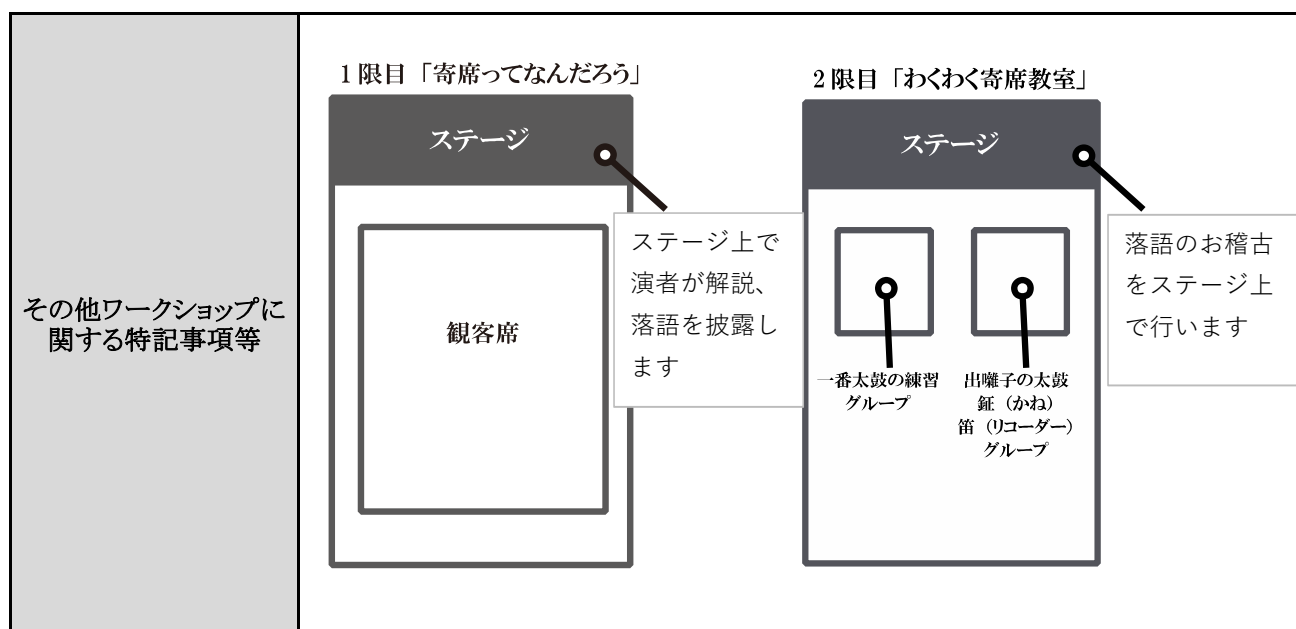
出演者	「学校寄席」「わんぱく寄席」の出演者は、初めて落語をみる児童生徒にわかりやすくするための工夫を重ね、師匠から若手へと伝えて半世紀の間に築き上げた上演経験のある出演者を主に選定しています。 主として落語協会、落語芸術協会、上方落語協会、太神楽協会、漫才協会、日本演芸家連合所属の出演者からご出演いただいています。 (出演者リストは別紙にございます)					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 6〜7 名 (漫才の場合は 1名増えます) スタッフ: 5 名 合 計: 11〜12 名		運搬		積載量: 1 t 車 長: 5.5 m 台 数: 1 台	
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間	
	無		無		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:20	8:30〜10:30	13:30〜15:10	10	15:10〜16:00	16:30
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	21日	19日	9日	19日	21日	
	11月	12月	1月	計	133日	
	19日	13日	12日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安		30名ほど	
			鑑賞人数目安		800名	
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真)	🌸 会場に、赤く派手な「わんぱく寄席」のノボリを立てて寄席の雰囲気をつつりと！ 🌸 児童・生徒代表の子どもたちが入口で一番太鼓を打ち鳴らし、会場には寄席ばやしが流れ、にぎやかに子どもたちを迎えます。 🌸 会場内では、落語家が使う小道具、色紙、洒落たデザインの手拭いなど寄席の小道具を展示する博物館。(会場条件により) 🌸 舞台は正面に金屏風、赤い毛氈でくるまれた高座、紫の座布団、両袖には寄席囲い、わんぱく寄席と書いた赤い提灯に灯りがともり、これからはじまる寄席のにぎやかで、楽しい雰囲気をお楽しみいただきます  展示ミニ博物館					
						
※採択決定後、採択団体へ図面等詳細の提出をお願い						

A区分・B区分・C区分共通

No.3(実演芸術)

【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】

児童・生徒の 参加可能人数	「わんぱく寄席」 「学校寄席」は、日本 の託きである落語を	参加人数目安	1限目…800名前後 2限目…30名ほど
ワークショップ 実施形態及び内容	1限目『寄席(落語)ってなんだろう?』 …はじめて落語に触れる児童生徒のために、落語について実演を交えながら解説します。 落語について理解を深めていただいたあと実際に落語を2本聞きます。(別添参照) 2限目『わくわく寄席(落語)教室』 …1限目で聞いた落語『寿限無』『平林』についてみんなで話し合ったり、 実際に声に出してみたりして理解を深めて行きます。 その後、落語を発表するグループ、一番太鼓や寄席囃子の太鼓をたたくグループ、 寄席囃子にあわせてリコーダーを演奏するグループに分かれて本公演の発表にむけて練習し ます。 (別添参照)		
ワークショップの ねらい	○国語の授業をそのまま伝統芸能や日本語を学ぶ場に このワークショップでは、国語の授業の一環としても活用できます。 落語には、「小噺」「ことばあそび」「しゃれ」など日本語のことばを学べる要素がふんだんに 盛り込まれています。 落語『寿限無』は、小学校の国語の教科書に取り入れられるようになり、 親しみやすい内容という他に、「寿限無寿限無ごうのすりきれ……」という歯切れの良い リズムが児童生徒に受け入れられ、飲み込みの早い児童生徒はすぐに覚えてしまいます。 また、落語『平林』は、漢字の音読み、訓読み、部首など、漢字を分解することで、 まったく違う読み方になるなど日本語の面白さについて再発見することができます。 ○話し方のコツをつかみ、聞き手へ伝える表現が身につく 落語には、聞き手に『伝える力』、『表現する力』、言葉にリズムをつけて話す『音楽性』などの 技術がつまっています。落語を聞くことで『聞く力』を養うこともできます。 このことは、学習指導要領にある「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「伝統的言語文化と国語の 特質に関する事項」の要素に当てはまります。 話し方のプロである落語家が、間の取り方、上下(かみしも)を使い分ける演じ方を直接みなさん と 向き合ってお教えます。 いままで本公演で落語を発表した児童生徒さんは、このワークショップを通して、聞く人に豊かな 情景を思い描いてもらうための表現力を身につけ、本公演でとても豊かな表情で堂々と落語を 発表し、その出来映えに毎回驚かされます。		



リンク先	No.2	【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】
演目概要	「わんぱく寄席」「学校寄席」は、日本の話芸である落語を中心とした寄席芸を、正しく鑑賞し、楽しみながら理解を深めていただくために行われています。楽しい笑いの中から日本語の話し方の技術を学び、言葉のおもしろさを把握していただくという、あくまでも文化的・教育的立場を重視しております。	「わんぱく寄席」「学校寄席」は、日本の話芸である落語を中心とした寄席芸を、正しく鑑賞し、楽しみながら理解を深めていただくために行われています。楽しい笑いの中から日本語の話し方の技術を学び、言葉のおもしろさを把握していただくという、あくまでも文化的・教育的立場を重視しております。 会場に、赤く派手な「わんぱく寄席」のソナリを立てて寄席の雰囲気をつつぷりと！ ❀ 児童・生徒代表の子どもたちが入口で一番太鼓を打ち鳴らし、会場には寄席ばやし流れ、にぎやかに子どもたちを迎えます。 ❀ 会場内では、落語家が使う小道具、色紙、洒落たデザインの手拭いなど寄席の小道具を展示する博物館。(会場条件により) ❀ 舞台は正面に金屏風、赤い毛氈でくまられた高座、紫の座布団、両袖には寄席囲い、わんぱく寄席と書いた赤い提灯に灯りがともり、これからはじまる寄席のにぎやかで、楽しい雰囲気をお楽しみいただけます  展示ミニ博物館  ②事 ・事 わんぱく寄席・学校寄席 はじまりはじまり！ ・事 ・事 ・学校に ・事 ・事 ・公 ・学 ・登 発表 児童・生徒代表が披露する 一番太鼓 「どんどんとこーい」開場とともに賑やかにみなさんをお出迎えいたします。 
		る(学

リンク先	No.2	【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】
演目概要	落語 開口一番 若手落語家  柳亭市若 ほか はじまりは、元気いっぱいの 若手落語家による落語。 わかりやすく楽しい演目をお話し致します。 ※演目は当日子どもたちの様子を見て その場で決めます。 なんのおはなしになるのかお楽しみに！ 色物 目で見て楽しい 技の数々  太神楽曲芸 など 鏡味仙志郎 ほか 傘の上に毬や升をのせて 勢いよく回したり、顎の上に 台茶碗を立て、その上に板や、 茶碗を積み上げて行く芸など ハラハラドキドキします。 ほかに、紙切り、奇術（手品） などがあります。 他にも楽しい色物が わんぱく寄席・学校寄席を 彩ります  落語 中トリをつとめる 実力派の師匠  古今亭志ん丸 ほか わんぱく寄席、学校寄席に 数多く出演していただいている 子どもたち目線で話のできる 実力派の師匠。 どんな話がとびだすか 乞うご期待！	※出演者はあくまでも例です

リンク先	No.2	【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】
演目概要	発表 代表児童・生徒による 落語発表会 落語  落語発表 児童生徒2名 ワークショップで練習した「寿限無」「平林」などの落語を実際の舞台上がって披露します 子どもたちがワークショップで落語家から直接口伝いでセリフなどを教わりながら、手ぬぐいや扇子をつかって、登場人物を演じ分ける技術を習得し、その成果を披露します。 鳴物  鳴物発表 児童数名 落語発表の児童が舞台上に登場する時の出囃子（登場曲）を演奏します。 太鼓、鉦（与助）に加えて、学校で使用しているリコーダーを笛の代わりにして出囃子を演奏し、みんなで一つの寄席を作り上げます。 踊り  かっぽれ発表 全員参加 全員で「かっぽれ」を総踊り。全員が楽しく踊って自然と笑みがこぼれます。 授業の関係で難しい場合は、割愛することも可能です。 	お仲入り（休憩 10 分）

リンク先

No.2

【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】

色物
いろいろものベテラン
珠玉の芸
演者による

はやし や しょう らく

林家正楽 など

芸を極めたベテラン演者の
珠玉の芸をお楽しみいただきます。
紙切り芸はお客様のご要望に
応えて紙にはさみをいれて
形作っていきます。
ほかに奇術、漫才、太神楽曲芸
江戸曲独楽など。

落語
らくご待ってました！
大トリ真打！

いり ふね てい ぜん ゆう

入船亭扇遊 ほか

わんぱく寄席・学校寄席のトリを
かざるのは、前座の時代から現在
まで学校公演を重ねてきた経験豊
富な出演者。
巧みな話術で子どもたちを落語の
楽しい世界へ誘います。

演目概要

追い出し太鼓 (ご希望の場合は児童生徒がたたくことも可能です)

「出てけ出てけ」というリズムで追い出し太鼓が流れ、楽しかった寄席もお開きの時間。
ありがとうございましたという気持ちを込めて。

たぬさひ	牛ほめ	時そば	時うどん	初天神	子ほめ	転失気	目黒のきんま	桃太郎	つる	やかん	田能久
動物園	ぞろぞろ	天狗裁き	道具屋	みそ豆	長屋の花見	犬の目	金明竹	饅頭こわい	元犬	狸の札	お菊の皿

など

いままで演じられた
ネタの一部
この中から当日
児童・生徒の雰囲気を見て選びます

古典落語には、江戸時代の人々の生活が生き生きと描かれています。長屋の大家さん、ご隠居さん、八つあん、熊さん、女将さんに与太郎さん。落語の登場人物は、おちょこちょいだけど憎めない、愛すべき人間たちが多く登場します。江戸時代の人のおおらかさ、人情が笑いと共に描かれています。児童生徒さんには、落語の笑いを通して、人と人とのコミュニケーションの取り方、思いやりなどを自然と身につけてもらいたいと思います。

1限目 寄席(落語)ってなんだろう?…45分～60分

全員参加

全員参加が難しい場合は、
学年参加でも大丈夫です

会場へ入るみなさまを一番太鼓でお出迎え



落語のみかた
たのしい解説で
落語の世界をご紹介します



落語が生まれたのはいつ?
落語家って何人くらいいるの?
芸名はどのようにつけられるか?
寄席文字の意味、座布団にかくされたひみつ
などなど落語の特徴などをご説明いたします。
そのあと、簡単な小噺をいたします。
その時どのようにお話ししているか
じっくりと観察してみてください。



寄席(下座) 音楽の解説
邦楽のダイジェスト版?
この出囃子は誰のかな?

落語家が登場するときに流れる音楽を出囃子といいます。
おはやしさんが弾く三味線に合わせて、太鼓、しめ太鼓、鉦など
にぎやかに演奏します。有名な落語家さんの出囃子とはどんな曲かな?
また、太鼓のたたく音で水の流れや雪が降っている様子など
自然の情景を表します。



上下の使い方
一人で何役も表現する落語
その表現の方法は?

落語は一人で何役も演じます。右を向いて一人の人物を演じ、
左をむいて別の人物を演じ分けます。
客席からみて舞台の右を上手(かみて)、左を下手(しもて)と呼びます。
そのことから、この方法を「上下(かみしも)をきる」といいます。
年齢や身分が高い人を演じる時は下手側を向き、年齢が下の人は
上手側を向いて話します。



ワークショップ
実施形態
及び内容

リンク先	No.3	【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】
ワークショップ 実施形態 及び内容	てぬぐいと扇子は どうやってつかうの？ しぐさってなあに？ 落語でつかう道具は てぬぐいと扇子だけ。 その二つの道具を つかって、いろいろな しぐさをご紹介します。 聴いている人の想像力 をふくらませます。 てぬぐいを つかって… 扇子を つかって… なになに 拝啓お元気ですか？ もしもし 手紙を読む 電話をかける 刀の長さを 目線の動きで 表現 はっ んん？ んん？ んん？ なんて長い刀なんだ	落語家は師匠に弟子入りして 師匠の身の回りのお世話などをする前座修業を します。 その修行時代に礼儀作法から 相手への気配りや師匠の身の回りの世話など、 いろいろなことを教わります。 ここでは、みなさんも前座修行で 教わる基本的な礼儀作法を体験して いただきます。 おじぎする時は、手で三角を 作って、その中に鼻を 入れるようにするんだよ
		あつてみよう 体験 コーナー 児童、生徒数名舞台上に上がって、 小噺や仕草をやってみよう！ 落語の解説をすべて聞いて頂いたあと、 代表の児童生徒数名が実際に高座（舞台） に上がって披露！

リンク先	No.3	【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】
ワークショップ 実施形態 及び内容	寿限無 (じゅげむ) あらすじ あるお家に男の子が生まれ、長生きする立派な名前をつけてもらおうと、お寺に行って和尚さんに相談すると「寿限無」「ごこうのすり切れ」「海砂利水魚」など縁起の良い名前を出してもらい、父親はその名前をすべてつなげてしまったからさ大変。 平林 (ひらばやし) あらすじ 丁稚の定吉がお医者様の「平林」さんへ手紙を届けるために、教えてもらった読み方を忘れないようにつぶやきながら歩いて行くが途中で忘れてしまいます。 そこで通りがかった人に「平林」の読み方を訪ねますが、 「たいらばやし」 「ひらりん」 「一八十の木木(いちちじゅうのもくもく)」 「一つと八つで十木木(ひとつとやっつでとっきき)」 と平林のさまざまな読み方を教えてもらい、そのよみかたをつなげて言っていくという内容の落語です。  最後にみんなで かっぱれを踊ろう かっぱれを踊ろう 踊ってみよう！ 体験 コーナー みんなで賑やかに 「かっぱれ」を踊ろう 落語を聞いた後みんなで 寄席の総おどり「かっぱれ」を 賑やかに踊ってお開き！  寄席踊りとは 寄席で落語の一席の後に余芸として踊られていた高座での踊りを先代の八代目助六師匠が寄席踊りとして一つにまとめました。 そして、現九代目助六師匠が新たな演出を加え、見て楽しめる作品に仕上げました。 かっぱれとは かっぱれは大阪・住吉大社の住吉踊り（重要無形文化財指定）に端を発し、江戸は浅草三社様の境内で大道芸として踊られていたものです。 落語では、三代目古今亭志ん朝師匠が寄席芸として復活させました。 感染症などの予防や授業の関係などで割愛することも可能です	

リンク先

No.3

【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】

ワークショップ
実施形態
及び内容らくごで
ことばあそび

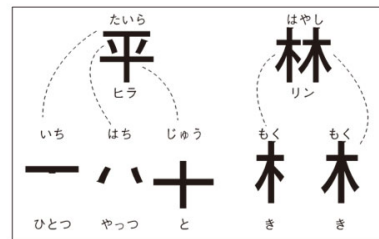
2限目 わくわく寄席(落語) 教室…45分

クラス単位・学年単位参加

1 限目で聞いた落語『寿限無』『平林』について、
みんなで話し合ったり実際にやってみよう！

その1

おもしろいと思ったところを話し合おう！

平林は漢字の読み仮名の違いや、漢字を分解して読んだりと
文字の面白さが題材となっています。その解説や寿限無の
おもしろかったところなどを話し合ってみよう。

平林の漢字を分解すると……

その2

実際に声に出して言ってみよう！

「寿限無」「平林」の簡単な文章を、
落語家さんの後につづいて声に出して言ってみよう！テキストを
お渡しします

その3

寄席の太鼓をたたいてみよう

お客様を呼び込む一番太鼓、休憩を知らせる仲入りの太鼓、
終演後に流れる追い出し太鼓などだけでなく、
出囃子の時にも三味線にあわせて太鼓を打ち鳴らします。
順番に太鼓をたたいて、その中から代表生徒が本公演で
発表します。

出囃子にあわせて太鼓をたたく練習

ドンドンどんとこーいと多くのお客様
が入るように勢いよく太鼓を叩きます

リンク先	No.3	【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】
ワークショップ 実施形態 及び内容	それぞれグループに分かれて 本公演の発表にむけて練習しよう！	
	練習1	落語 落語『寿限無』『平林』発表練習 落語『寿限無』と『平林』の練習を行います。 落語家が上下（かみしも）の使い方、しぐさなどを直接指導します。 その中から代表の児童生徒が本公演で『寿限無』『平林』を発表します。 ※一人で全部発表することが難しい場合は、一つの演目を数人でリレー方式で発表することも可能です。
	 目線と上下の位置を指導しています 右を向いて左を向いて一人で何人もの登場人物を演じ分けます  本来は口伝で教える落語ですが、 わかりやすいようにテキストをお渡しします  落語家の表情を見ながら練習するため、 感染症対策としてアクリル板の仕切りを たてて仕切り越しに指導します。	
	練習2	鳴物 一番太鼓、出囃子、笛の練習 一番太鼓組……本公演の開場とともに流れる 一番太鼓を数名の児童生徒が 交互に打ち鳴らします。 出囃子組 ……落語発表の児童の出囃子に あわせて、太鼓、鉦を演奏。 笛 組 ……鳴物の笛の代わりに普段児童 生徒が使用しているリコーダー で出囃子にあわせて演奏。
	 大太鼓と締太鼓を使って出囃子にあわせて 叩く練習をします。  学校の好きな曲を出囃子にしてそれに あわせてリコーダーを吹きます。	
練習3	踊り 寄席踊り「かっぱれ」の練習  ねじり鉢巻きを巻いて、小気味の良い 音楽にあわせて歌いながらみんなで 踊ります。 本公演で児童の落語発表の後に 代表児童が舞台の前で踊ります。 ※授業の関係上演がむずかしい場合は割愛することも 可能です。	

リンク先	No.3	【公演団体名 わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)】
ワークショップ 実施形態 及び内容	本公演で共演する落語披露と 一番太鼓・追い出し太鼓披露の代表児童が 本番までに 用意するものなど   亭号と名前をかंगाえてオリジナルめくりを作成 本番で発表するときまでに「○○亭花丸」などの 自分の落語家としての名前を考えて、オリジナルのめくりを作成します。 (作り方などの資料をお渡しいたします、ワークショップの時にご説明いたします)  	
	 着物を着て舞台へ 落語を発表する代表者には着物を着て登場してもらいます。 最後に着物のたたみ方をお教えします。 実際に浴衣を着る機会に活用していただけます。 ※ご希望の場合着付け教室を開催することも可能です。 	